

平成 28 年度 岐阜支部症例検討会 活動報告

日時：平成 28 年 10 月 9 日（日）
10：00～12：00

場所：岐北厚生病院（講義室）

座長：岐阜保健短期大学 小久保 晃 先生



<演題名>

①高齢である脊椎破骨折患者への理学療法経験

岐北厚生病院 山藤 優弥 先生

②バランスの能力の改善に難渋した高齢な大腿骨頸部骨折を呈した症例

山内ホスピタル 宮田 万里 先生

③右被殻出血により左片麻痺を呈した症例を経験して

一車椅子での ADL 自立を目指した症例のゴール設定・予後予測に着目して一

山内ホスピタル 市原 里奈 先生

④橋梗塞を呈した片麻痺患者への歩行訓練介入を経験して

山内ホスピタル 安藤 準 先生

⑤心原性脳塞栓症を呈した症例 ～足底感覚と基底核の働きに着目して～

岩砂病院・岩砂マタニティ 清水 のぞみ 先生

⑥左被殻出血を呈した症例

岩砂病院・岩砂マタニティ 牧村 祐希 先生

⑦長いようで短い 3 か月で退所目指した症例

老人保健施設サンバレーかかみ野 大峰 翔 先生

参加者：22 名（内参加者：7 名）

アンケート結果

- ・ 少人数のディスカッション形式にする ⇒ 意見交換がし易い。しかし、参加人数にもよる。
- ・ 新人教育プログラムに症例検討会での発表を必須にしてほしい ⇒ 参加人数 UP
- ・ 参加人数が少ないので参加者にも単位取得があると良い ⇒ 参加人数 UP

平成 28 年 10 月 9 日（日）岐北厚生病院にて平成 28 年度 岐阜支部症例検討会を開催致しました。半日の検討会でしたが、7 名もの症例発表者に参加していただきました。少人数ながらも活発な意見交換が行われました。様々な病院や施設の先生方が集まり、それぞれの経験や知識を共有することができたと思います。今後は発表者、スタッフ以外の参加者が増加し、より活発な意見交換・知識の共有が出来ると良いと思います。

症例検討は治療を行う上での問題点や疑問の示唆となる貴重な機会です。より良い会になるよう検討していきたいと考えます。